

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武内小学校（佐賀県）【指定校】

【取組内容】 主体的に学習するための「学びの地図」における動画教材活用

学習の各場面で必要に応じて動画教材が視聴できる環境を準備している。I - 1の「学びの地図」に動画リンクを挿入し、学習に必要な動画にすぐにアクセスすることができるようにした。動画は、一般提供されている動画の他、指導者自作、または児童がスタディ・ログとして保存した動画を共有して活用を進めた。



スタディ・ログを活用しながら
学びを進める様子（6年音楽科）



学習者用動画を観ながら学びを深めていく様子（2年生活科、4年理科）



2年生活科では、一般公開されている動画と児童による自作動画を活用した。おもちゃづくりの単位では、作り方の動画を児童が選択し、視聴した。その後、児童がおもちゃを作る過程においてその写真や動画を自ら記録し、学級全員に共有した。これによって気付きの質が高まった。また、6年音楽科では、自分の演奏の様子を動画で記録することによって、表現を振り返ったり、他者の動画から気付きやヒントを得たりすることができた。さらに、指導者にとっても評価に活用することができる点で有用であった。

各学年、教科ではNHK for Schoolの動画を「学びの地図」に掲載し、視聴を促している。例えば、4年理科「雨水のゆくえ」では、本単元で学んだことが5～6年生でどうつながっていくのかを確認させ、見通しのある学習につなげた。児童にとっても学習内容への興味・関心が深まった。